

めざす子ども像

- 資質・能力を身に付け、主体的に学び続ける子供
- 自他の良さを知り、協働できる子供
- 基本的な生活習慣を身に付け、健康や体力を増進する子供

児童の実態

おとなしく真面目であり、指示されたらその通りに行動することはできる。
上級生以下級生に対して思いやりのある声かけをすることができている。
声が小さく自分に対して自信のなさが見受けられ、消極的な生活態度となっている。

保護者の願い

- 学力・徳育・体力を身に付けてほしい。
- 健康で安全な学校生活を送ってほしい。

学校教育目標

夢や目標をもち、主体的に学び続ける児童の育成

学校経営目標

重点施策1 主体的で深い学びができる児童を育成するために、ICT機器を効果的に活用するとともに、プログラミング教育の推進を図る。
(1) 基礎・基本の学力の向上
(2) プログラミング教育の推進
(3) 教職員の授業力の向上のためにICT機器の活用方法について研修を行う

重点施策2 特別支援教育の充実
(1) 落ち着いた学習できる環境づくり
(2) ICT機器の活用などの視覚支援
(3) 安心できる、やる気の出る集団づくり祝辞

重点施策3 年間を通した体力づくり・食育指導を継続して行い、家庭と連携する中で、たくましく健やかな体を育てる。
(1) 体力の向上
(2) 基本的な生活習慣の確立
(3) 防災訓練の推進

重点施策4 幼保小中高連携を充実させ、あこがれをつなぎながら規律のある学校を作る。
(1) 幼保小連携の充実
(2) 小中高連携の充実
(3) 当たり前前のことが当たり前にできる児童を育てる。

重点施策5 家庭や地域との連携をし、信頼される特色ある学校をつくる。
(1) 保護者連携
(2) 地域に貢献する児童の育成

関係法規等

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書
小学校キャリア教育推進の手引
キャリア教育等推進プラン
広島県総合計画行政戦略プラン

キャリア教育の目標

【第1章総則 第4 2 (5)】
「各教科等の指導に当たっては、児童が学習課題や活動を選択したり、自らの将来について考えたりする機会を設けるなど工夫すること。」
①家庭、学校、地域の一員としての役割を果たすことにより、自分のよさや得意分野に気づき、日々の生活の中でそれらを生かそうとする意欲を持たせ、態度を養う。
②将来への夢や希望をふくらませながら、生活と職業との関係を考え、職業に対する基本的な知識・理解を得る。

キャリア教育指導目標

「よりよい人間関係を築きながら、自らのよさに気づき、夢と希望のある生活や将来を創り出していこうとする意欲・態度の育成」

- ①日々の生活の中で、自分のよさや得意分野に気づき、それらを生かそうとする意欲・態度をもつ。
- ②将来への夢や希望をふくらませながら、生活と職業との関係を考え、職業に対する基本的な知識・理解を得る。
- ③卒業後の中学校生活における新しい環境や人間関係についての理解や心構えをもつ。

【令和5年度重点目標】

- ①教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等との関連を図ったキャリア教育の推進
- ②人間関係形成能力の育成に重点を置いたキャリア教育の推進
- ③社会的体験学習の実施と事前・事後指導の充実

キャリア教育学年指導目標

低 学 年	中 学 年	高 学 年
<p>いっぴいつくろう友だちを</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと仲良く遊び、助け合う気持ちを育てる。 ・自己の役割や身の回りの仕事に対し、意欲的に関わろうとする態度を養う。 	<p>しっかり知ろう自分のことを</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさや自分の伸びを見つめることによって、自己肯定感を育てる。 ・友だちと協力して、様々な体験的活動を行おうとする態度を育てる。 	<p>未来に向かって持とうよ夢を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来のことを考え、あこがれの気持ちを育てる。 ・自分の長所・短所に気づき、自分らしさを発揮させ将来への夢や希望を実現しようとする態度を育てる。

各領域における指導内容

各 教 科	道 徳	特 別 活 動			総合的な学習の時間	その他の教育活動
<ul style="list-style-type: none"> ○授業で、「わかる・できる」(成就感・満足感)を感じさせる。 ○各教科に即した基礎・基本を確実に身に付けさせる。 ○必要に応じて、情報を取捨選択し、効果的に発信させる。 ○自己を肯定的にとらえ、その能力を伸ばさせようとする態度を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他のよさや個性を理解し、共に向上しようとする態度を養う。 ○コミュニケーションを図り、人間関係を築きながら、自己の成長を果たさせる。 ○係や当番の仕事に取り組み、働くことの大切さを分からせる。 ○働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つ実践意欲を培う。 ○選択の意味や、判断・決定の過程には責任が伴うことを理解する。 	<p>学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学級の一人として役割分担し活動させる。 ○基本的な生活習慣など、日常生活を営むために必要な行動の仕方を身に付けさせる。 ○健全な生活態度を身に付けさせる。(保健安全・図書利用・学校給食) ○話し合い活動を通して、自主的に諸問題を解決する態度を養う。 	<p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験的な活動を行うことによって全校及び学年集団への所属感を深める。 ○学校で学ぶことと社会生活、職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを、理解する。 ○日常の学習成果の総合的な発展を図って、学校生活の充実と発展に資するようにする。 ○集団行動における、望ましい態度や協力してよりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。 	<p>児童会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校生活の充実と向上を目指し、異学年集団による活動を充実させる。 ○職業等に関する情報を収集・検索すると共に自己の生き方を考えることができる。 ○学校生活における諸問題を解決する活動及び、学校内の仕事を分担することによって、自主性と社会性を身に付けさせる。 ○児童一人一人の学校生活に対する願いを、具現化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。 ○気づいたこと、分かったことや個人、グループでまとめたことを発表する。 ○学び方やものの考え方を身に付け問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする ○ボランティア活動などの社会体験、見学や調査、発表や討論、物作りや生産活動などの体験的な学習を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断しよりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クラブ活動では、学年を超え、共通の目的の元で個性の伸長を図りながら、自発的な集団活動をさせる。 ○保護者、幼・小・中・高等学校、地域社会との連携や交流をし、地域ぐるみの教育を進める。 ○社会教育施設や地域の施設を活用し、体験的活動を充実させる。

キャリア教育実践のための基盤

・生徒指導の機能を生かした基本的な生活習慣の定着を図る。	・学級経営の充実を図る。	・教職員の協働体制の確立と校内研修の充実を図る。	・懇談会の充実及びPTAとの連携の充実を図る。	・地域の教育力を生かした行事の開催や職場体験の充実を図る。	・幼・小・中・高等学校と連携し、キャリア教育の充実を図る。
------------------------------	--------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------------	-------------------------------